

はっぴい

黒部市立たかせ小学校

保健便り

令和3年 2月

今月は、2年生と6年生が「いのち」について学びました。子供たちの授業の様子や、事後の感想等をご紹介します。

いのちの授業「あなたがだいすき」:6年生



〔講師〕助産師
水島 香苗 さん

2月10日（水）、6年生を対象に「いのちの授業」がありました。

演題「あなたがだいすき」には、「一人一人が大切な存在で、誰もが等しく大切」「全てのいのちは公平」という意味が込められており、子供たちは自分がどのように産まれてきたかということや、個性は赤ちゃんの時からあること等、専門的なお話を聞くことができました。

子供たちの感想には、個性尊重の大切さ、自分が今生きていることの素晴らしさ、お父さんやお母さんへの感謝の気持ち、そしてこれから頑張って生きていきたいという決意が書かれ、卒業を控えた子供たちの今後の人生に役立てることができる、貴重な時間となりました。

***** 6年生児童の感想 *****

- 産まれてくるまで、産まれる時、産まれた後の出来事等を詳しく知ることができて感動しました。
- 母は私を産んだ時、感動したのかなと思いました。助産師さんのいいお話は、とても心に響いてきました。
- 私たちの体は、いろんな人にたくさん守られてきたおかげで、ここまで成長できたということが分かりました。これからは、しっかり自分を受け入れて、成長していきたいです。
- 産まれてくること、生きていることは当たり前ではなく、奇跡だということが分かりました。お母さんといのちの話や手紙のやりとり等をあまりしていなかったので、この機会に私もお母さんに手紙を渡したいです。
- 僕のお父さんとお母さんや、先祖があって僕が産まれたので、そのつないでくれた命を大切に、親にも感謝していこうと思いました。



「わたしの誕生」について学習しました：2年生



2年生が授業参観で「わたしの誕生」について学習しました。

自分がおなかにいると分かった時や、産まれた時のお母さんの気持ち等について、事前に調べ学習を行いました。授業ではいのちの始まり(受精卵)の大きさが針の穴ほどであることや、胎児の成長課程、自分のおへそがお母さんにつながっていたこと、お母さんと一緒に頑張ってお産してきたこと等を学びました。

***** 2年生児童の感想 *****

- ・お母さんと、へその緒でつながっていたなんて知らなかった。私が赤ちゃんを産む時は、絵本の読み聞かせをしてみたいです。
- ・赤ちゃん人形が、すごく重かったです。お母さんはすごく大変だったと思いました。
- ・赤ちゃんは産まれてから、初めて息をすると知って、びっくりしました。
- ・手紙をもらった家族のことを、大切にしたいです。
- ・お母さんからもらった大切ないのちなので、100歳まで生きたいです。
- ・一人一人かけがえのない大切ないのちだから、そのいのちを大切に生きていきます。手紙を読んでとても感動して、泣きそうになりました。
- ・手紙を読んで、お母さんがこんなに僕のことを大切に思ってくれていたことを初めて知りました。

★両学年ともに、親子で手紙交換をする取組がありました。子供たちは家族からの手紙を大変喜び、家族で気持ちを伝え合うことの大切さを改めて感じさせられました。

★現在は、メディア等で、様々な性情報があふれています。性教育は家庭や学校で学ぶ内容以外に、お子さんの発達状況に合わせて、親がしっかりと子供の疑問・質問に答えたり、情報管理をしたりすることが大切です。中学生以降になると、子供から親に性のことを質問することは減るそうです。質問してきた時はよい機会と捉え、安心感が持てるように話をしましょう。

〔保健関係のお知らせ〕

第2回目の「とやまゲンキッズ作戦」を実施します。この機会に生活習慣を見直しましょう。

※ 期間は2月24日(水)～2月28日(日)です。カードは1日分を記入して提出してください。